



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.13
六甲山とツツジ/白岩卓巳
2004年4月発行

第13回テーマ：六甲山とツツジ



ツツジの花を手に観察する

講演内容

六甲山はツツジの生える山

六甲山を彩るツツジの各種

ツツジの受粉

しくみの不思議

実施日：平成16年4月17日(土)

午後1時～3時50分

場所：六甲山自然保護センター内

レクチャールーム



講師：白岩 卓巳さん

プロフィール

1934年生まれ
神戸大学教育学部卒業
神戸市小学校教員(神戸市
立住吉小・港島小校長)
日本植物分類学会、兵庫県
生物学会会長、神戸親和女
子大学講師

平成16年第1回が好スタート

鶯も鳴く気持ちのいい春の陽気の中、平成16年度第1回目の市民セミナーが開幕しました。冬季休館であった自然保護センターがこの4月から開館し、久しぶりで新鮮に感じます。記念碑台の一部も補修され、参加者の皆さんはセミナー開始の時間まで、広々した記念碑台から素晴らしい景色を楽しまれていました。

これから六甲山を彩る美しいツツジ

アリマウマノスズクサや水生シダなどの研究で有名な白岩さんに、六甲山の春を彩るこれからがシーズンのツツジについてご紹介いただきました。いろいろなツツジ科植物のスライド紹介、実物を見ながらしくみを説明していただきました。スライドで見て、花を手にとっての講演で、感心と納得の連続でした。



久しぶりの自然保護センターに集う

講演で休憩を入れて、お茶を飲みながらのざっくばらんな雰囲気、質疑応答へと進みました。

今回からボランティア活動にも着手

講演に先立って午前中に、記念碑台及び周辺の整備・清掃に取り組むボランティア活動を行いました。今回13名に参加していただき、散策用のマップを手に、センター管理人のお話を伺い、ボランティア活動の主旨を確認。散策ルートと記念碑台を下見し、ゴミ拾いをしながら課題を確認しました。(4ページの「六甲山の広場」参照)

市民セミナーの講演後の懇談会では、午前中の下見で気づいた点も含めて、意見を交わしました。

詳しくは1～2ページをお読みください。

今回は中務勝子さんにレポートをお願いしました。

参加の感想 青木 孝子さん

エーッ！アセビがツツジの仲間なの？アセビに始まりホツツジに終わるといって、1年を通じてツツジの季節。驚きました。「六甲山はツツジの山」という



のも頷けます。甲虫「ハナムグリハネカクシ」による受粉の話、吸蜜の話等、色鮮やかな幾種ものツツジのスライドと併せて、心豊かに過ごせた時間でした。これからの季節、幾つのツツジにめぐり合えるでしょう。とても楽しみです。午前の部のボランティア活動も参加者の話し合いを基に進められるのは、とてもいい事だと思いました。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館

灘区役所(「地域力を高める」手づくりの活動・事業助成)